

オンライン講義とは（受講の注意点）

① オンライン講義とは

離れた場所で行われる講義を受講することです。主にインターネットを利用するため「オンライン講義」と呼ばれ、「遠隔講義」とも呼ばれます。例えば、他の学校の教室とオンラインでつながり意見交換をしたり、海外在住の英語講師の講義を国内の教室で受けたりといった様子をニュースで見たことがある方もいるでしょう。こうした受講のための空間が、自宅など教室以外の場所にも広がるとお考えいただければと思います。

② 必要な環境

オンライン講義を受講するためには、「インターネット回線」と「受講用端末（デバイス）」が必要となります。

■インターネット回線

インターネット回線には主に以下の3つがあります。

A：固定回線

光回線、ケーブルテレビ、ADSL 回線といったものがあり、自宅に引き込むタイプの回線です。アパートなどの賃貸物件の場合、利用できる回線が整備されている場合があります。回線の有無がわからない場合、家族や不動産管理会社に尋ねてみましょう。安定した高速通信が可能で、月間で利用できる通信量に制限がないことが一般的で、最もオンライン講義の受講に適した環境です。スマートフォンやタブレットなどの無線デバイスを利用するためには、別途無線 LAN（Wi-Fi）アクセスポイントを設置する必要があります。

B：モバイル回線

契約者はモバイルルーターやポケット Wi-Fi と呼ばれる専用の小型通信用端末でインターネットと無線通信を行います。WiMAX や Softbank Air といったサービスが有名です。無線デバイスをそのまま接続して利用することができます。無線接続機能がないパソコンを接続する場合は、別途 LAN ケーブルを使う有線接続用のアダプターが必要となります。月間で利用できる通信量に制限がある場合と無制限の場合があります。契約内容を確認しましょう。

C：スマートフォン（携帯電話）回線

スマートフォンやタブレットに SIM カードを挿入して利用するタイプの回線です。月間で利用できる通信量に制限がある場合がほとんどで、格安 SIM と呼ばれるタイプの契約だと通信料が安い反面、利用できる通信量はさらに少なくなります。メールやネットサーフィンには十分な容量であっても、オンライン講義の受講には不足が生じる可能性があります。

■受講用端末

受講用端末には主に以下の3つがあります。

A：パソコン

デスクトップパソコン、ノートパソコンの2種類があります。インターネットへの接続方式（有線接続／無線接続／どちらも可）を確認しましょう。

B：タブレット

インターネットへの接続は原則無線接続となります。

C：スマートフォン

インターネットへの接続は原則無線接続となります。画面サイズに制限があるため、A や B の受講用端末がある場合はそちらを利用することをおすすめします。

■受講環境の確認

インターネット回線と受講用端末について、自身が利用できる環境を事前に確認し、受講方法を検討しましょう。

☆受講環境ごとの注意点

	パソコン	タブレット／スマートフォン
固定回線	・パソコンに有線接続用の LAN 端子がない場合、無線 LAN アクセスポイントが必要。回線事業者からのレンタル機器に無線 LAN 機能が搭載されている場合あり。	・無線 LAN アクセスポイントが必要。回線事業者からのレンタル機器に無線 LAN 機能が搭載されている場合あり。
モバイル回線	・月間通信量の残量に注意。	・月間通信量の残量に注意。
スマートフォン回線	・テザリング機能を利用する。オプション契約となっている場合があるため、事前に確認する。 ・月間通信量の残量に注意。	・月間通信量の残量に注意。

③ 必要な手段

オンライン講義とは何か、なぜ実施するのか、受講するのにどんな環境が必要なのか、ここまでで大体わかりいただけたと思います。しかし、それだけではオンライン講義を受けることはできません。物理的に離れた場所にいる皆さんに講義に関する連絡をしたり、講義コンテンツをお届けするための手段が必要となるのです。本学では以下の手段を用いて実現します。

■E メール

講義を配信する地域・研究連携センターとの連絡に利用します。

■動画共有プラットフォーム「YouTube」

YouTube は Google 社が運営する世界最大の動画共有サービスです。

本講座では「YouTube」を利用します。皆さんのパソコンやタブレット、スマートフォンなどからブラウザ及びアプリで講義動画等を視聴することができます。講義動画は、事前に登録いただいた E メールアドレスへ URL をお送りします。

④ オンライン講義の実施方法

■講義動画（オンデマンド）の視聴

事前に撮影された講義動画を視聴する形式です。

⑤ 受講上の注意

■講義情報の公開や再配布

講義に関する情報や教材または講義動画を第三者に配布したり、インターネット上に公開するような行為は著作権侵害になることもあり、厳禁です。講義に関する情報は非公開の大学資産・著作物であり、軽率な取り扱いによって起きた事故については責任が問われます。

「オンライン講義」で配信される教材は、受講者の学修のために配信されるものであることを決して忘れないようにしてください。場合によっては処分を受けることもありますので、厳重に取り扱うようにしてください。

◇やってはいけないことの例

- ・ 講義資料やその URL を、インターネット上にアップロードすること。
- ・ 講義資料やその URL を、第三者に渡すこと。
- ・ 配信された動画を画面キャプチャまたはダウンロードして、別の場所にアップロードすること。

著作権については以下のページに解説がありますので、教材や Q&A などをおして基本的な部分を学んでください。

文化庁「著作権制度に関する情報」

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/>

■個人情報・肖像権等の保護

オンライン講義に限ったことではなく、普段教室で行われる講義においても個人情報は保護されなければなりません。

以下のようなことは個人情報の保護に反することになりますので、決して行わないでください。処分の対象となる場合があります。

- 担当教員や受講者の写真や映像を本人の許可なく勝手に撮影・録画すること。（スクリーンショットも同様です）
- 講義時間に知り得た、教員や他の受講者のプライベートな情報を SNS など書き込むこと。